

「平成27年度多治見市資金運用実績」の公表について

1. はじめに

会計管理者は、毎年度の歳計現金、歳入歳出外現金及び基金積立金の保管と運用を行っています。「多治見市資金管理運用基準」に基づき平成27年度の運用実績を公表します。

2. 歳計現金・歳計外現金の管理運用実績

会計管理者が管理する現金は、日々の支払いに充てる「歳計現金」と県民税や職員の所得税、保険料などを一時的に預かっている「歳計外現金」があります。

通常は、普通預金（決済性預金）で保管していますが、すぐに支払いを行わない資金については定期預金で運用を行っています。

平成27年度の運用実績は以下のとおりです。

表1 歳計現金及び歳計外現金の保管、運用実績

区分		現金残高	普通預金（注1）	定期預金
平均月末残高	H25	3,645,541千円	2,853,874千円	791,667千円
	H26	3,220,356千円	2,370,356千円	850,000千円
	H27	4,026,299千円	3,026,299千円	1,000,000千円
年間利子額	H25	1,033千円	—	1,033千円
	H26	996千円	—	996千円
	H27	1,305千円	—	1,305千円
平均年間利率	H25	0.028%	—	0.131%
	H26	0.031%	—	0.117%
	H27	0.032%	—	0.131%

※（注1）普通預金は、資金保全のため利子が付かない「決済性預金」で保管しています（基金の運用も同じ）。

3. 基金の管理運用実績

当市では、平成27年度末現在40の基金を設置しています。これらの基金の平成27年度末現金現在高は、241億円程となっています。

基金の現金は普通預金（決済性預金）で保管を行い、当面基金を取り崩す予定のない部分については、定期預金及び債券（国債・地方債・政府保証債）で運用を行っています。

平成27年度中の運用実績は、以下のとおりです。

表2 基金の保管、運用実績

区分		基金全体	普通預金	定期預金	債券
平均月末残高	H25	22,409,611千円	3,189,108千円	15,090,800千円	4,129,703千円
	H26	23,162,760千円	1,725,120千円	17,568,550千円	3,869,090千円
	H27	24,043,368千円	4,577,708千円	15,799,296千円	3,666,363千円
年間利子額	H25	55,610千円	—	29,925千円	25,685千円
	H26	58,080千円	—	32,852千円	25,228千円
	H27	49,882千円	—	24,654千円	23,283千円
平均年間利率	H25	0.248%	—	0.198%	0.622%
	H26	0.251%	—	0.187%	0.652%
	H27	0.208%	—	0.168%	0.635%

4. まとめ

- 歳計現金及び歳計外現金については、大規模な建設事業が一段落したため、月末の現金残高平均は前年度に比べ8億円程減少しています。
これをうけ、月平均の定期預金残高は1億5千万円増加していますが、預入期間を延ばすなど定期預金利子の確保に努めたため、年間利子額は平成26年度に比べ34万円ほど、率にして31%増加しました。
- 基金については、平均月末残高が240億4千万円で前年度より8億8千百万円の増となりましたが、年間利子額は逆に820万円程減少しています。
これは、金融緩和政策の継続により、特に債券の金利が大幅に低下したため、長期的に低い金利が固定される債券の購入を控えたためです。
- こうした低金利の状況の中、これまで以上に運用益の確保が厳しく、また難しい上場が見込まれますが、今後とも安全性の確保を第一に、流動性に配慮しながら確実に効率的な資金運用に努めていきます。